

読書活動で文部科学大臣表彰を受ける

校長 齋藤 一 男

新緑に包まれ、優しい春風が肌を心地よくなでていくととてもさわやかな気分になります。4月もあっという間に終わりです。今、家庭訪問真っ最中ですが、子どもたちも、新しいクラスにすぐに溶け込み、新学期のスタートを着実に歩み始めました。

さて、4月23日は、「子ども読書の日」でした。この日、国立オリンピック記念青少年総合センターで、その記念として、「子どもの読書活動推進フォーラム」が開催され参加してきました。本校でも継続して読書活動を推進しているので、この日に合わせて、テレビ校内放送で本の紹介、鈴木学校図書館司書さんの読み聞かせに取り組みました。読書をして、心の中に心の種をたくさんまいてほしいと思います。

この「子ども読書の日」は、平成11年8月、「子ども読書年に関する決議」国会で採択
平成12年5月、国立国会図書館の支部図書館として「国際子ども図書館」の開設
平成13年12月「子ども読書活動の推進に関する法律」の制定
平成14年8月、「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」の策定
このような経緯を経て定められたようです。
そして、「子ども読書の日」に「子どもの読書活動推進フォーラム」を開催し、読書活動を積極的に推進している特に優れた実践学校や図書館、団体・個人を文部科学大臣表彰として表彰するようになったようです。
平成16年度は、小学校99校、中学校26校、高校32校、中・高校2校盲・聾・養護学校5校の計164校、図書館52館、59団体・個人が表彰の栄誉に輝きました。

本校は、大谷場中学校とともに昨年度までの読書活動の取り組みが特に優れていると認められて、「読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰をいただくことができました。これは図書委員の子どもたちをはじめとして全児童による読書活動の取り組みが素晴らしかったからだと思います。本当にうれしいことです。

そして、忘れてならないのは、塚本一雄前校長をはじめとしまして各先生方、直接担当として読書活動を支えてきた米玉利優子司書教諭・鈴木弘子学校図書館司書の熱心な取り組みがあったればこそと思っております。感謝したいと思います。

当日は、本校を代表して、竹田忠一教務主任と一緒にフォーラムに参加して賞状をいただいて参りましたが、全校児童とともに全員で喜びたいと思います。

「読書は心の栄養」とよくいいますが、この表彰を一つの励みにしてまたおおいに本と仲良しになっていければと思っています。本は、心の扉を開き、夢と空想の世界に導いてくれたり、感動と勇気もくれます。小学校時代の読書体験は貴重で、よい思い出となり、生涯読書の糧ともなります。そして、心を育てるばかりでなく、学習意欲・学力や人間形成にまで影響してきます。読書体験積むということは、よい読書習慣を身に付け、好奇心や創造力を豊かにして行きます。

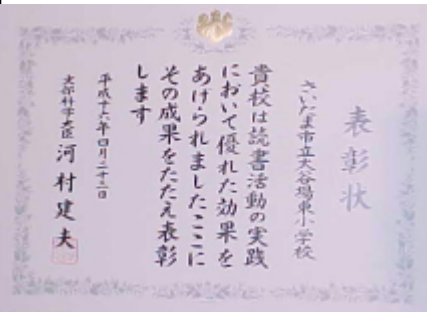
これからも大谷場中学校と連携しながら、9年間の計画的な読書活動を推進して、豊かな人間性と社会性を育み、思いやりの心・感動する心・考える力を育てていきたいと思っております。

今後、保護者のご支援、ご協力をいただきながら読書活動の推進をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



大谷場東小の特色ある教育活動紹介 やりました！大臣賞受賞！ 子ども読書の日記念 子どもの読書活動が記念フォーラム 読書活動が優秀実践校表彰 文部科学大臣賞

4月23日(金)東京・参宮橋の国立オリンピック記念青少年総合センターにて表彰式があり、文部科学大臣賞として壇上で表彰されました。この表彰は、日本全国の学校を対象に、読書を推進する活動が顕著に優秀である学校を表彰し、その功績を讃えることを目的に行われたものです。9年間計画的に育む読書活動、中学校との連携による読書教育のよさが認められたものです。



160をこえる学校・団体の代表として壇上で表彰を受けました。



時間	内容	人数
8:40~9:35	開会式(読書発表)	1
9:00~9:45	1	1
9:50~10:25	2	2
10:25~10:50	15分発表	3
10:50~11:25	3	3
11:40~12:25	4	4
12:25~12:50	発表	発表
13:10~13:25	発表	発表
13:25~13:50	発表	発表
13:50~14:30	発表	発表
14:35~15:20	発表	発表



実践発表の様子

資料展示 4月26日(月)~
表彰状及び読書活動に関する資料を2階図書館前に展示します。ぜひ、ご覧ください。



展示を見る
参会者



講演：角田栄子氏

祝辞：扇千景氏

子どもの未来を考える議員連盟会長の扇千景参議院議員さんの祝辞では、大谷場中学校の「目指せ10000ページ」の取り組みを取り上げて称賛いただきました。

「魔女の宅急便」著者で童話作家の角野栄子(かどのえいこ)さんの講演では、「帽子が飛んでいってしまったこと」や「ブラジルへ移民したこと」などの体験談から「物語の中へ溶け込むこと」など読書の楽しさ・よさのお話を伺いました。

式典では、子ども達を代表して大谷場中学校生徒会長の大谷美沙緒さんが賞状を受け取りました。



北海道から沖縄まで日本全国から500人以上の参会がありました。